

YCU 第2クォータープログラム 派遣学生報告書

氏名	H.A.	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	2年	派遣国	オーストリア
派遣大学	ウィーン大学		
プログラム名	第2クォータープログラム		
期間	2024年 8月5日～ 2024年 8月30日		

(1) 授業や課題、演習はどのような内容であったか。(800字程度)

(可能な限り具体的に、印象に残った授業などの説明があるとよい)

渡航前にクラス分けのためのテストをオンラインで受験し、その結果をもとに細かくクラス分けをされた。コースの参加者は非常に多い印象で、複数のキャンパスにまで教室が展開されていたが、1クラスの人数は15人から20人と小規模だった。ゲート検定によるレベルA1.1からC2まで分かれていて、私はドイツ語を半期のみ初習外国語で履修していただけだったためA1.2(ほぼ初心者レベル)クラスに配属された。

クラスメイトの年齢は幅広く、私のクラスでは16歳から50歳までと一緒に授業を受けた。国籍も様々で、スペインやアメリカ、カザフスタンやイラン、タイなど、16人全員が違う国の出身であった。授業はテキストを使用し、ペアワークや会話練習が主であった。疑問点がある場合はいつでも質問でき、解説してもらえたが、当たり前であるが解説は英語のため、完全に理解するためには予習や復習を行っていた方がいいという印象を受けた。毎回の課題でテキストブックの後半にある復習問題が出されていた。作文や穴埋めや並び替えなど、力になる内容ばかりで、しっかりやっていたら課題をやるだけである程度授業内容が網羅できるものとなっていた。毎回の授業は2時間45分で、休憩が一回挟まれる。前半は主に前回の授業の復習がメインで、ペアの人と一緒に課題の分からなかったところの確認や、名詞の性別を当てるゲーム、前置詞を覚えるためのクイズなどをした。休憩時間は大学近くのカフェにクラスメイトと行ったり、外に散歩に行ったり、リフレッシュして過ごすことができます。休憩後は授業をテキストに沿って進めていく感じであった。

プログラムの最終日には、Hören, Lesen, Schreiben, Sprechenの4技能の確認テストがあった。Sprechenテストの内容はクラスによって異なるが、私のクラスは4人のグループが一つの家族になりきって、先生とのドイツ語のインタビューに答えるというものだ。それぞれのグループが個性的な発表をしていて、面白かったことが印象に残っている。そして、各グループの発表内容を理解できるほどドイツ語が分かるようになってきたことの達成感や、先生と楽しく会話できたことのうれしさを実感できた。

(2) 授業を受けてどのような知識等が得られたか。(500字程度)

授業内容に関連することとしたら、まず、ドイツ語の知識はもちろん増やすことができた。過去の出来事の言い方や一日のスケジュールなどを紹介することができるようになった。ウィーンでの暮らしが2週間ほどたったところでは、レストランで注文をドイツ語でできるようになったり、スーパーの店員さんとのやり取りもドイツ語でできるようになったりした。また、寮内での会話は英語のため、自分の英語力を伸ばすことができた。どの国の人も優しく、理解できないときはゆっくり喋りかけてくれ、出身地の自慢などで盛り上がった。

学んだことは、習ったことを恥ずかしがらずに積極的に話してみるということだ。授業内では会話して練習しようという形式がほとんどのため、例文を作って発表する時には積極的に挑戦してみると良いと感じた。また、街中ではちょっとした話題でも、店員さんが話しかけてくれた時に少しドイツ語を話すと喜んでくれ、ほかの言い回しや単語を教えてくれたりする人が多かった。常に自分の中に縮こまらずに、いろんな人に話しかけるといいということが学べたと思う。

(3) 授業を受ける前・受けた後でどのように(気持ちなどが)変化したか。(400字程度)

恥ずかしながら渡航前は、そもそもウィーンに行きたくてそのついでにドイツ語の授業を取ろうという目的であった。第2外国語でせっきく履修していたしいい機会だと思っていた。授業が始まって最初のころは、自分のレベルよりも少し上のクラスに配属されてしまい、ついていくのすらままならなかったり、自分の英語に自信がないためにクラスメイトとは挨拶しかしていなかったりであった。しかし教室内には自分よりも年下だったり、ウィーンで働きたいという明確な目標を持っている人が多く、せっきくウィーンにいるのだから何もしないのはもったいないと思い、予習復習をきちんとしたり、クラス内でいろんな人に話しかけたりして、コミュニケーションを取っていこうという気持ちになることができた。

今回のドイツ語コースを受講して、ますますドイツ語への興味がわき、さらにはウィーンを訪れて街並みをもう一度楽しみたいという目標もできた。また、今後留学でドイツ語圏の国に行きたいと思うようになった。

(4) 今後どう生かしていくか。どのように学業を進めていくか。(300字程度)

引き続き第2外国語としてドイツ語を履修していこうと思う。連絡先を交換したクラスメイトもいるため、連絡を取り合うことを続けられたらいいと思う。また、今後ドイツ語圏の国への留学を視野に入れて英語やドイツ語の学習を自発的に進めていきたい。